



見てみよう 令和 2 年度 各務原市の 決算状況

令和 2 年度
「見てみよう 各務原市の決算状況」
各務原市役所 財政課
〒 504-8555 各務原市那加桜町 1-69
TEL | 058-383-1132
FAX | 058-383-6365
E-mail | zaisei1@city.kakamigahara.gifu.jp

はじめに

各務原市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと考えています。

決算については、決算書や決算認定資料を作成し公開していますが、これらは数字や文章だけで書かれており、慣れていない方にとっては少し読みにくいものとなっています。そこで、多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しています。

市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。

この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

また、令和2年度に実施をした事業について、SDGsの17種類のうち該当する主なゴール（目標）を示しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、平成28年から令和12年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲットから構成され、すべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

市では、「総合計画（後期基本計画）」や「総合戦略」の中で、SDGsを取組の前提事項に位置付けています。

（注1）本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。
（注2）本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

1

決算ってなに？

市はあらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てています。これを「予算」といいます。

この計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「決算」といいます。

計画どおりにきちんと使われたのか市民の代表者が集まる議会などでしっかり確認しています。

■ 予算から決算までの流れ



～前年度の3月ごろ

予算編成

1年間にどれくらいのお金が入ってくるかを予測して、お金の使い道の計画（予算）を立て、議会が議決します。



4月～3月

予算執行

計画（予算）に沿って市民サービスを提供していきます。

※次年度の5月までに全ての支払いを完了



次年度の6月～9月

決算

使ったお金をまとめ、行った市民サービスの結果と合わせて公表し、議会が認定します。

▶ memo

1年間の計画を立ててお金を使っていますが、台風など自然災害の発生や経済情勢の変化など、予測できなかった事態に対応するため、途中で計画を変更することがあります。この場合、必要なお金を追加したり、不要となったお金を減らしたりします。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より多く計画を変更しました。

2

どれくらいのお金を扱っているの？

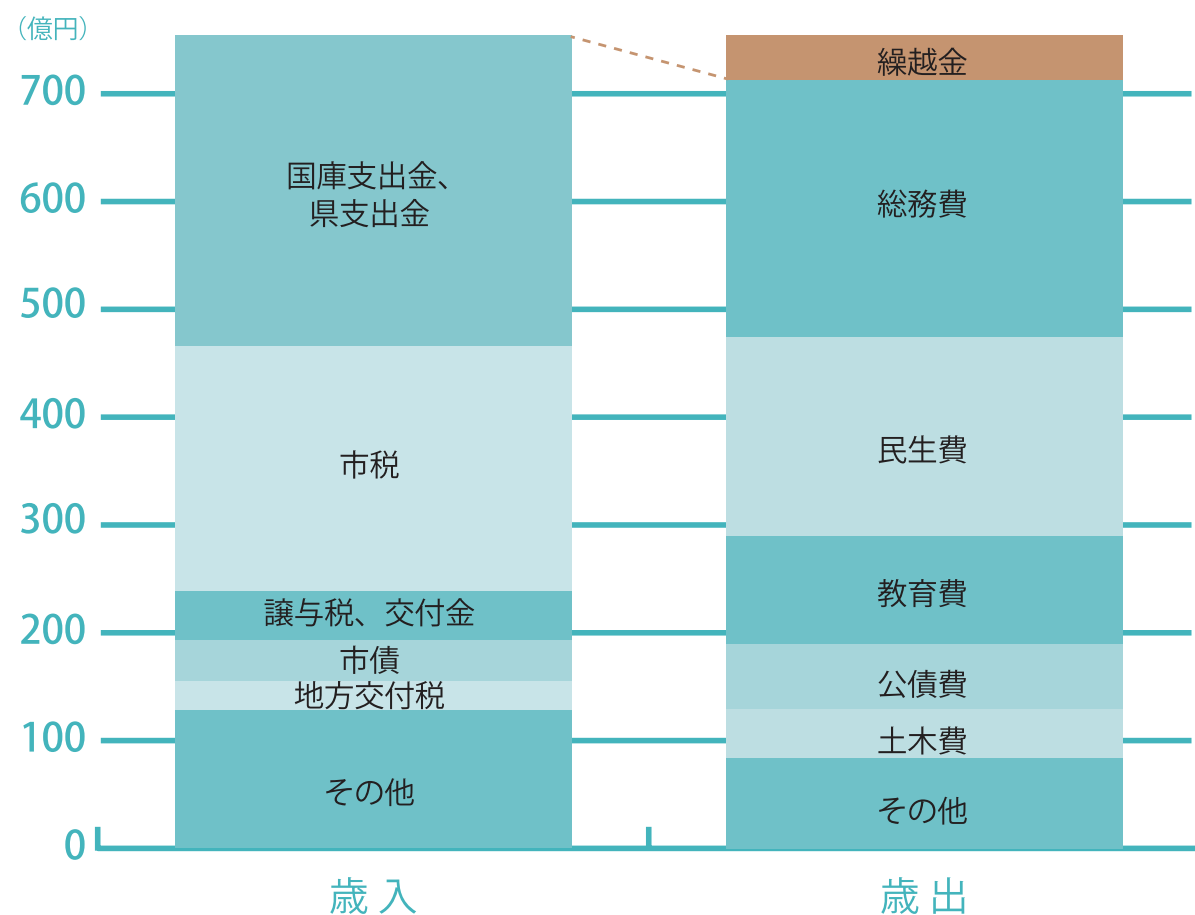
令和2年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、753億7,601万円

使ったお金（歳出）は、713億134万円です。

余ったお金の40億7,467万円は、次の年度に使っていきます（「繰越金」といいます）。

歳入と歳出の差は、40億7,467万円です。
これは、次の年度に繰り越して使います。



memo

繰越金は次の年度の行政サービスに活用していきます。

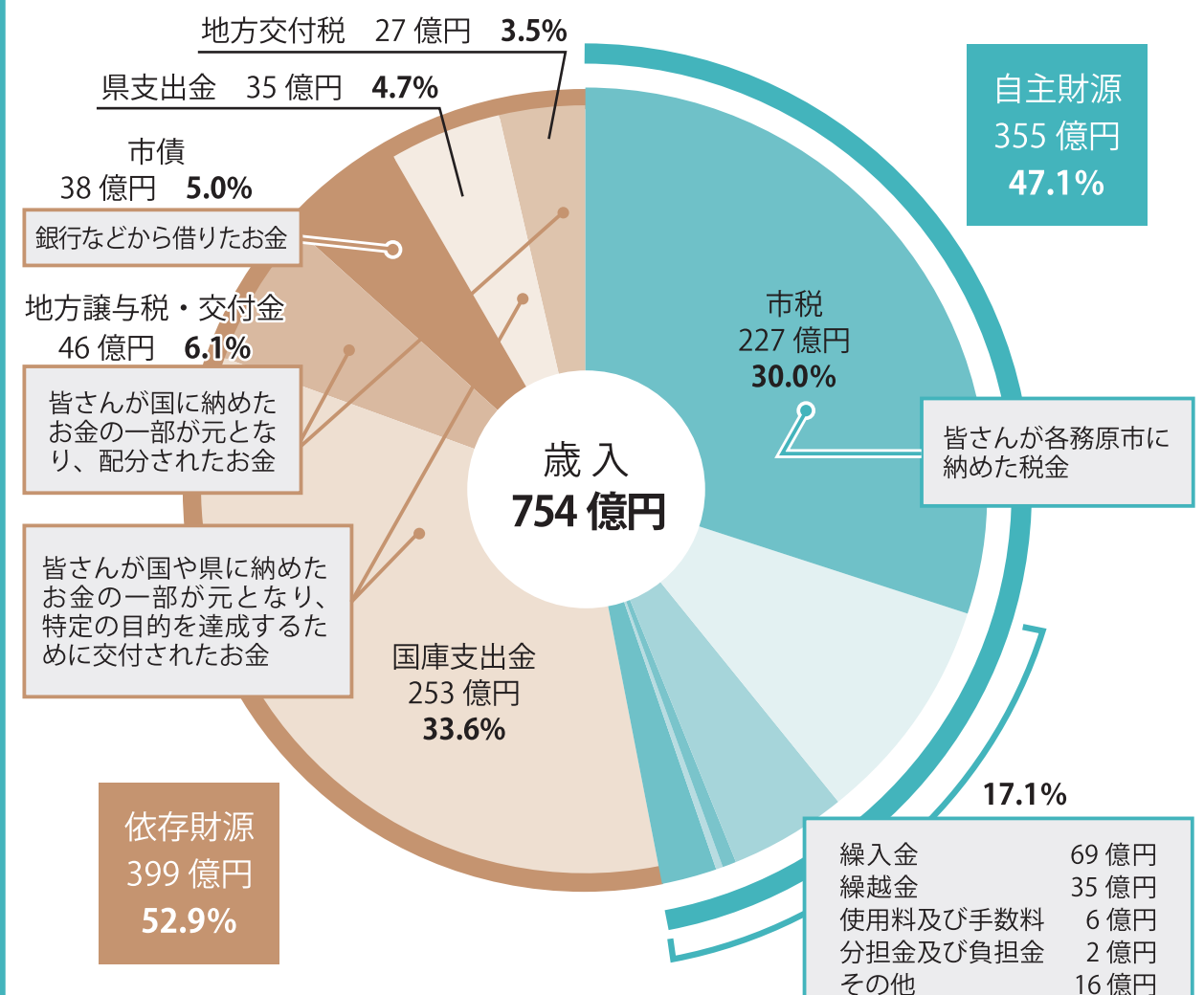
歳入・歳出の額は年度によって増減しますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により歳入・歳出ともに過去5年間の平均よりも200億円ほど増加しています。

3

どんなお金が入ってきたの？

令和2年度に各務原市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市内に住んでいる人が納める個人市民税、市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税といった税金のほか、国や県から入ってくるお金、施設の利用料、銀行などからの借金、貯金を取り崩したお金などがあります。



(注3) 決算で使用する用語は、5ページにて詳しく解説しています。

memo

市が自主的に集められる「自主財源」は全体の約5割、それ以外の「依存財源」は、国・県から入ってくるお金や、銀行などから借りたお金です。

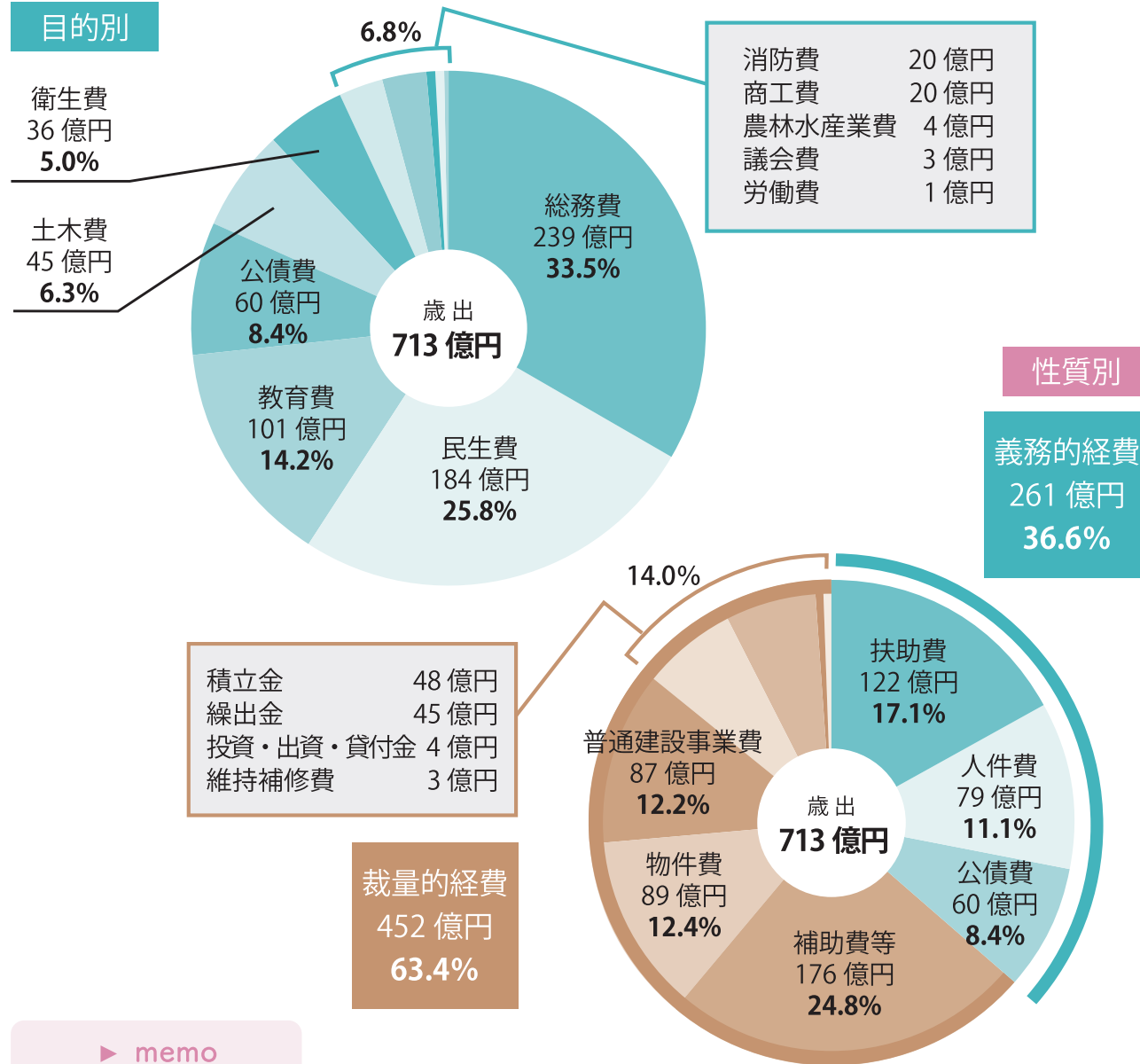
「自主財源」の大部分は市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の重要な財源となっています。

4

どんなことにお金を使ったの？

次に、令和2年度に各務原市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。
「何のために使ったのか」という観点で分類したものが目的別、「どんなことに使ったのか」という観点で分類したものが性質別という分け方です。

目的別



性質別

義務的経費
261 億円
36.6%

裁量的経費
452 億円
63.4%

memo

「目的別」では総務費が33.5%、民生費が25.8%、「性質別」では補助費等が24.8%、扶助費が17.1%の順となっており、特別定額給付金の影響で総務費と補助費等が例年より増えています。また、福祉の関係に多くのお金を使っていることが分かります。「性質別」の扶助費と人件費と公債費を加えた3つの経費の合計を「義務的経費」といいます。政策判断によって内容の見直しができる「裁量的経費」と違って、「義務的経費」は支出することが制度上で義務付けられていて、削減が難しい経費です。

歳入の分類

項目	説明
自主財源	市が自主的に集めるお金
市税	市民の皆さんから各務原市に納めていただいた税金
分担金及び負担金	事業の経費の一部を、受益者の方に負担していただくもの
使用料及び手数料	市の施設を利用したときや、証明書を発行したときなどにいただくもの
繰入金	貯金（基金）の一部を取り崩したもの
その他	寄附金や不動産売払いなどの財産収入、前年度からの繰越金など
依存財源	国や県から交付されるお金や市債
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国に納めた税金の一部。使い道は自由
国・県支出金	皆さんが国や県に納めた税金の一部。使い道は決められている
市債	銀行などからの借入れ

歳出の分類

目的別 ～何のために～	説明	性質別 ～どんなことに～	説明
議会費	議員報酬や、議会の運営にかかる経費	義務的経費	制度的に義務付けられた経費
総務費	庁舎管理、市税の賦課徴収、戸籍の管理、選挙などにかかる経費	人件費	職員の給与や、議員報酬にかかる経費
民生費	社会保障や福祉施設の管理・運営などにかかる経費	扶助費	子どもや高齢者、障がい者などを支援するための経費
衛生費	予防接種や健診などの医療、ごみやし尿の収集処理などにかかる経費	公債費	借入金の返済金
労働費	労働者の就労支援などにかかる経費	裁量的経費	政策により柔軟に増減できる経費
農林水産業費	農業の振興や、山林の管理などにかかる経費	物件費	消耗品や印刷代、光熱水費などの経費
商工費	商工業の振興や公共交通の拡充、観光の推進などにかかる経費	維持補修費	道路や施設などの修理にかかる経費
土木費	道路、公園などの整備や、維持管理にかかる経費	補助費等	謝礼、助成金や負担金などのほか下水道会計に支払う経費
消防費	消防や救急、防災などにかかる経費	積立金	財政運営を計画的に行うための貯金
教育費	教育環境の整備や、社会教育などにかかる経費	投資・出資・貸付金	中小企業の経営安定化を目的とした貸付金など
公債費	借入金の返済金	繰出金	国保、介護、後期高齢特別会計に支払う経費
		普通建設事業費	道路や施設などの工事にかかる経費

5

市の仕事をもっと詳しく知りたい

令和2年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。

総務費

- ☒ 市公式ウェブサイト
リニューアル事業【誇り】 1,309 万円
誰もが簡単に必要な情報を得ることができ、緊急時には迅速かつ適切な情報発信が安定して行えるよう、市ウェブサイトをリニューアルしました。
- ☐ 新庁舎建設事業【やさしさ】 21 億 1,312 万円
- ☐ 空家等対策事業【やさしさ】 389 万円



民生費

- ☒ フレイル予防事業【やさしさ】 193 万円
高齢者の健康増進を図るため、住民の方が身近な場所で主体的にフレイル予防に取り組めるためのサポーター養成研修や、農作業を通じた健康づくりのための取り組みであるはたけサロン事業などを実施しました。
- ☐ 基幹相談支援センター事業【やさしさ】 2,970 万円
- ☐ 保育所等入所選考システム導入事業【活力】 516 万円



衛生費

- ☒ ごみ出しガイドブック作成事業【誇り】 257 万円
市民の皆さんに適切なごみ出しを行っていただけるよう、ごみ出しガイドブックの日本語版を改訂し、新たにベトナム語版を作成しました。
- ☐ 乳幼児健康診査事業【やさしさ】 2,066 万円
- ☐ クリーンセンター外壁改修事業【誇り】 7,737 万円



労働費

- ☒ 地育地就業事業【活力】 61 万円
地元で育った高校生・大学生に地元企業への就職を促すため、市内企業のバスツアーを開催しました。
- ☐ 勤労会館管理費【活力】 883 万円
- ☐ 雇用調整助成金申請等
手数料補助事業【活力】 997 万円



(注4) 【誇り】【活力】【やさしさ】は、本市のまちづくりにおいて大切にしている3つの基本理念を示しています。
(注5) ☒の箇所は、写真の事業を示しています。

農林水産業費

- ☒ 農業用施設内生息外来生物
駆除事業【誇り】 649 万円
水稻被害を抑制するため、農業用排水路内に生息する外来生物であるスクミリンゴガイの駆除を行いました。
- ☐ 各務野農業体験塾事業【誇り】 20 万円
- ☐ 農業用排水路等改修事業【活力】 6,157 万円



商工費

- ☒ チョイソコかかみがはら事業【活力】 682 万円
日常の様々な移動ニーズに対応するため、民間のAI技術を活用した新たなデマンド型交通システムを導入し、鶴沼南地区で実証運行を開始しました。
- ☐ 起業後支援事業【活力】 26 万円
- ☐ 航空宇宙博物館施設整備事業【活力】 896 万円



土木費

- ☒ 桐野公園整備事業【活力】 8,527 万円
「地域の様々な世代の方が憩える心安らぐ公園」をコンセプトに、大雨の際に一時的に水を溜めることのできる調整池機能を兼ね備えた、緑豊かな桐野公園を整備しました。
- ☐ 那加福祉センター勤労会館駐車場
活用事業【活力】 5,258 万円
- ☐ 学びの森緑の一括管理事業【活力】 440 万円



消防費

- ☒ 防災備蓄倉庫整備事業【やさしさ】 2 億 1,636 万円
巨大地震発生時に備えて必要な物資を蓄えるため、防災備蓄倉庫を建設したほか、二次避難所にコンテナ式防災備蓄倉庫を2基整備しました。
- ☐ Net119 緊急通報システム整備事業【やさしさ】 62 万円
- ☐ 洪水ハザードマップ・
防災ハンドブック更新事業【やさしさ】 653 万円



教育費

- ☒ 弓道場整備事業【誇り】 1 億 6,718 万円
既設施設の老朽化や耐震性の問題を解消し利便性を向上させるため、各務野スポーツの森東側に新たな弓道場を整備しました。
- ☐ GIGA スクール事業【誇り】 5 億 2,688 万円
- ☐ 不登校対策事業【誇り】 214 万円



6₁

貯金や借金はどれくらいあるの？

市では、貯金のことを「基金」、借金のことを「借入金」と呼んで管理しています。

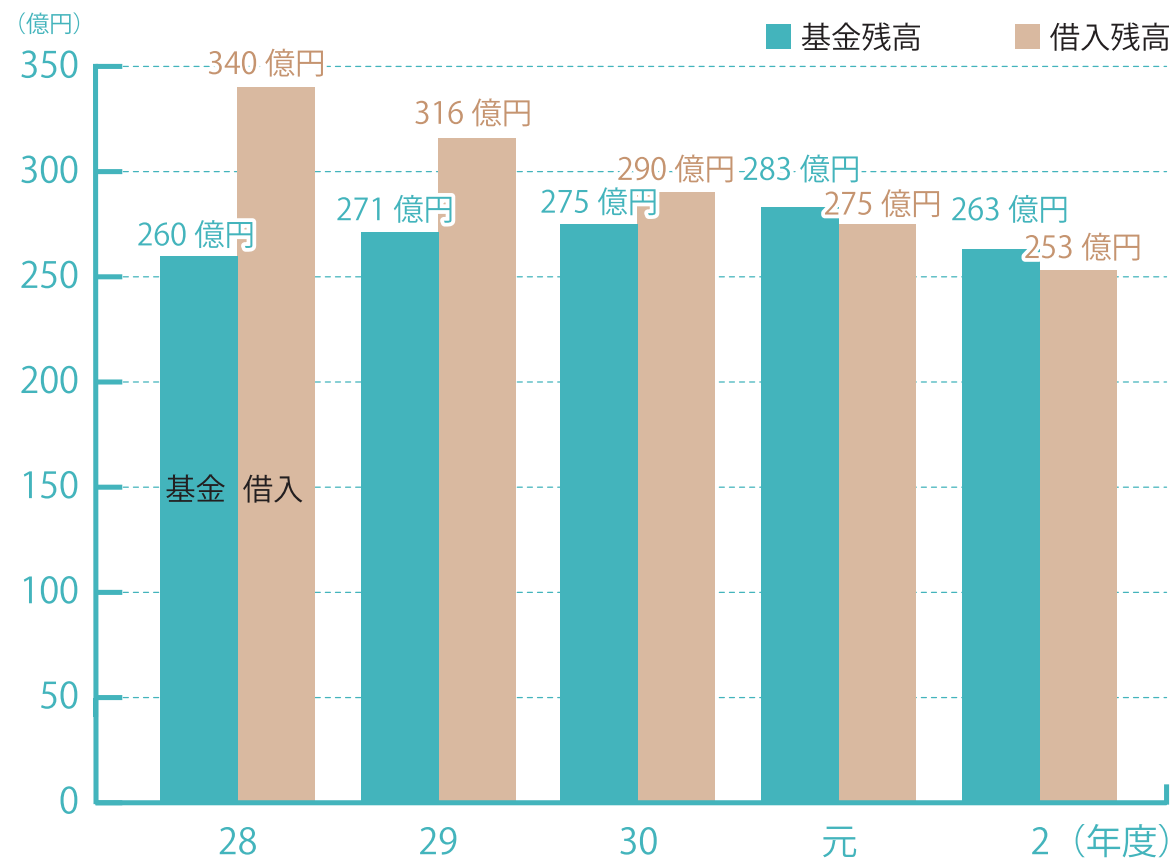
令和2年度末の基金残高は、**262億6,705万円**です。

令和元年度末と比べ**20億7,352万円 減少**しました。

また、令和2年度末の借入残高は、**253億2,573万円**です。

令和元年度末と比べ**21億4,383万円 減少**しました。

基金残高・借入残高の推移



▶ memo

基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、庁舎の整備に使うものなど、それぞれその目的ごとに分類し、管理しています。借入金にも種類がありますが、市では将来の財政負担を軽くするために、その返済に国の支援がある有利なものに限りお金を借りています。とはいえ、借金は借金ですから、計画的に借入・返済をすることが大切です。

6₂

貯金があるのになんで借金をするの？

例えば学校を建てると、その後、何十年と使っていくことになるので、建てたときの世代の人たちだけでこのお金を負担するのは不公平です。分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担してもらいます。

また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他の事業ができなくなってしまいます。

■ 市民負担のイメージ



建設時の市民だけでは
大きな負担…



長い間かけて使うことができるものは、
長い間かけてみんなで負担！

▶ memo

市が行う借入金は、基本的に建物や道路などを整備するためのものです。毎月の生活費のために借りるのではなく、住宅ローンのように、何年も使っていくような大きな買い物のお金を借りています。

7

「ふるさと納税」の使い道は？

令和2年度中にいただいた「ふるさと納税」**4億5,087万円**を
さまざまな事業に活用しました。

応援メニュー	寄附金額	応援メニュー	寄附金額
1 教育・文化・スポーツに関すること	6,220万円	6 子ども福祉に関すること	5,788万円
2 環境に関すること	4,012万円	7 防災・防犯に関すること	800万円
3 保健・医療に関すること	6,325万円	8 基盤整備に関すること	516万円
4 高齢者福祉に関すること	1,405万円	9 産業振興に関すること	1,587万円
5 障がい児者福祉に関すること	2,220万円	10 各務原市まるごと応援	1億6,214万円

小・中・特別支援学校維持補修費

事業費 6,335万円

1

市内の小・中・特別支援学校について、建物や遊具など経常的な施設修繕を実施し、学校施設の安全管理に努めました。



リサイクル施設管理費

事業費 2,295万円

2

循環型社会を推進するために、市内で回収されたペットボトル等の選別処理を行い再資源化を行いました。



休日急病診療所運営費

事業費 2,358万円

3

病院や医院が休診となる日曜、祝日に急病となった方を診察するための診療所を運営しました。



緊急通報システム設置事業

事業費 616万円

4

ひとり暮らしの高齢者等の住居に、急病等に対応するための緊急通報システムを設置しました。



福祉の里運営事業

事業費 2億5,333万円

5

障がいのある方に対し、効果的な障害福祉サービス等の提供に努め、安全・安心に施設をご利用いただけるよう、適切な管理・運営を行いました。



こども医療費助成事業

事業費 3億5,408万円

6

こどもの医療費の一部を助成することで、経済負担の軽減と健康の保持を図り、福祉の増進に努めました。



自動式心臓マッサージ器導入事業

事業費 548万円

7

救急活動の向上と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、救急車に自動式心臓マッサージ器2台を配備しました。



都市公園維持補修事業

事業費 1,155万円

8

都市公園の安心安全な利用のため、市内都市公園の維持補修工事を実施しました。



機械要素技術展出展事業

事業費 121万円

9

新型コロナウイルス感染症による航空機産業の苦境を乗り切るため、市内の航空機産業関連企業が他分野へ販路開拓する取り組みを支援しました。



防災備蓄品充実事業

事業費 477万円

10

災害時に備え、防災備蓄倉庫等で保管する防災用備蓄食料等を更新しました。



1 感染症拡大防止のための対策

- ☑ お家で手を洗おう！ Wash！ Wash！ Wash！ キャンペーン事業
- ☑ お元気コール健康チェック事業
- ☑ 電子図書館導入事業
- ☑ インフルエンザ予防接種助成事業
- ☑ 避難所生活環境確保事業



2 学校等の臨時休業に伴う対策

- ☑ 児童扶養手当受給者等「特別応援金」給付事業
- ☑ 夏季休業期間給食費無償化事業
- ☑ ステイホーム支援事業（今こそ読書、絵本で応援）
- ☑ 修学旅行等感染症対策支援事業



各務原市の主な 新型コロナウイルス感染症対策一覧

3 事業者支援のための対策

- ☑ オンライン合同企業説明会事業
- ☑ オンライン会社説明動画作成支援事業
- ☑ 新型コロナウイルス感染症対応事業者応援事業
- ☑ 雇用調整助成金申請等手数料補助事業



4 事業継続や地域経済活性化のための対策

- ☑ 特別定額給付金
- ☑ 臨時特別給付金（子育て世帯・ひとり親）
- ☑ プレミアム付商品券事業
- ☑ 中小企業生産性革命推進事業
- ☑ Webで巡るミュージアムスタンプラリー事業

